



1/14

### 地元で育てられた私ができること

山北総合体育館・さんぼく会館

▶春夏甲子園の出場も果たしている講師の小林さん



さんぼくスポーツ協会主催による「競技スポーツ強化事業セミナー」が開催されました。講師は、府屋集落出身で現在、プロ野球の東京ヤクルトスワローズアスレティックトレーナーの小林宏平さん。小・中学生への実技指導と講話を行い、延べ130人が参加しました。

小林さんは講演の結びに「地元で育てていただき、地域に還元するのが使命だと思っていました。スポーツを通して故郷を誇りに思う子どもが1人でも多く育てほしいです」と話し、参加者からは激励の声と感謝の拍手が沸き起こっていました。

1/21

### 夢の実現のために

教育情報センター・荒川総合体育館



▶2日目はサッカースポーツ少年団員と指導者を対象に「水内サッカー教室」を開催



Jリーグ開幕時から選手として活躍し、引退後はテレビのスポーツ番組を中心に活躍されている水内猛氏を講師にむかえ、講演会とサッカー教室が開催されました。

初日の講演会には約140人が参加。自身の体験談を中心に、プロになってどうなりたいか、どうしたいかなど夢を大きく持つことの大切さについて話してくれました。

1/14

### 伝統継承は幼き頃の経験から

山北やまゆり学童保育所

▶うまく焼けたかな



今年で4回目の開催となる「どんど焼き」。当日は寒波の襲来で凍てつく寒さとなりましたが、子どもたちは元気に保護者とスルメや餅、マシュマロなどを焼いて、一年間の無病息災をお祈りしました。

「子どもたちに地域の風習を体験させたいとどんど焼きを始めました」と話す支援員の富樫房子さん。幼き頃の経験が、未来へと受け継がれることを願いつつ、学童保育所ではさまざまな活動を続けています。

1/20

### 地域とともに防災教育を進めます

朝日中学校



▶昨年8月の市内一斉防災訓練に参加するなど生徒の防災意識は高い



校内の避難訓練後、1・2年生を対象に地元防災士の遠山悦男さんが講演を行いました。

『顔の見える防災のまちづくり』というテーマでの「自助・共助・公助」の具体的な内容や日ごろの近所付き合いの大切さなどの話に、生徒たちの防災意識や地域の一員としての自覚も、一層高まりました。

1/25

名工の技を学ぶ

金屋小学校



おいそうなお弁当が完成

日本料理の分野で「にいがたの名工」に認定されている本間二郎さんを講師に、6年生を対象にした弁当づくり体験が行われました。

児童は村上市の特産である鮭と煎茶を使った炊き込みご飯や玉子焼きなどに挑戦。完成した料理のほか、本間さん手製の鮭の焼き漬けや鶏の照り焼きなどを盛り付け、豪華なオリジナル和弁当を完成させました。

本間さんは「出汁は日本料理の基本。子どもたちには出汁の取り方と使い方、そして本物の味を知ってほしい」と話していました。

1/25

みんな仲良く健康で

上助淵集落



参加者27人の手拍子が演奏を盛り上げる

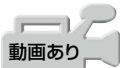
上助淵集落の地域の交流会「ふれあい茶の間」で今年初めての月例会が行われました。檜原集落の太田厚生さんをお招きし、三味線や和太鼓などの演奏を披露していただき、みんなで歌いながら楽しいひと時を過ごしました。

代表の八藤後清さんは、「今年も地域の茶の間に集い、みんな仲良く、健康で楽しく過ごしたい」と話していました。

2/3

鬼はそと！福はうち！

三面保育園



新聞紙で作った豆を鬼にぶつける園児たち



3月に閉園する三面保育園に三面小学校1年生と地元老人会の皆さんを招いて、豆まきが行われました。

カラフルな鬼の面をかぶった子ども達は、歌と踊りを披露し、「鬼は～そと」と豆まき。おじいちゃん鬼と、心の中の鬼を退治し、福の神のおばあちゃんからご褒美のおやつをもらって、ご満悦の様子でした。

1/26

野菜は地場産が1番だね！

保内小学校



お友だちの包丁さばきを見守る

保内小学校の3年生が調理実習を通し地場産の野菜について学習しました。

この日のメニューは旬を迎えた新鮮なオータムポエムの塩昆布和え。野菜の甘さを存分に知ってもらうため、他の材料は人参のみ、味付けも塩昆布だけというシンプルなものですが、初めて料理をしたという児童も多く、野菜を切る姿は真剣そのもの。チームプレーでようやく完成させると、自然と笑みがこぼれていました。

斉藤遼太郎君は「野菜がすごくおいしかった。家でも作って食べたいです」と元気よく話してくれました。